au

Samsung GALAXY S III Progre

SCL21

取扱説明書

4G LTE

ごあいさつ

このたびは、GALAXY SⅢ Progre（以下、「本製品」と表記します）をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。
ご使用の前に『取扱説明書』（本書）をお読みいただき、正しくお使いください。お読みになった後は、いつでも見られるようお手元に大切に保管してください。『取扱説明書』（本書）を紛失されたときは、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

操作説明について

■『設定ガイド』／『取扱説明書』（本書）

主な機能の主な操作のみ説明しています。
さまざまな機能のより詳しい説明については、本体内で利用できる『取扱説明書アプリケーション』やauホームページより『取扱説明書　詳細版』をご参照ください。
http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

- 本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

■『取扱説明書アプリケーション』

本製品では、本体内で詳しい操作方法を確認できる『取扱説明書アプリケーション』をご利用できます。また、機能によっては説明画面からその機能を起動することができます。

アプリ一覧画面で［取扱説明書 GALAXY SⅢ Progre］

- 初めてご利用になる場合は、画面の指示に従ってアプリケーションをダウンロードし、インストールする必要があります。

■ For Those Requiring an English Instruction Manual
英語版の『取扱説明書』が必要な方へ

You can download the English version of the Basic Manual from the au website (available from approximately one month after the product is released).
『取扱説明書・抜粋(英語版)』をauホームページに掲載しています(発売約1ヶ月後から)。
Download URL: http://www.au.kddi.com/torisetsu/index.html

安全上のご注意

本製品をご利用になる前に、本書の「安全上のご注意」をお読みのうえ、正しくご使用ください。
故障とお考えになる前に、以下のauホームページのauお客さまサポートで症状をご確認ください。
http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/index.html

本製品をご利用いただくにあたって

- サービスエリア内でも電波の届かない場所(トンネル・地下など)では通信できません。また、電波状態の悪い場所では通信できないこともあります。なお、通信中に電波状態の悪い場所へ移動すると、通信が途切れることがありますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品は電波を使用しているため、第三者に通信を傍受される可能性がないとは言えませんので、ご留意ください。(ただし、LTE/CDMA/GSM/UMTS方式は通信上の高い秘話機能を備えております。)

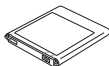
- 本製品は国際ローミングサービス対応の携帯電話ですが、本書で説明しております各ネットワークサービスは、地域やサービス内容によって異なります。
  詳しくは、auホームページより『取扱説明書　詳細版』をご参照ください。
- 本製品は電波法に基づく無線局ですので、電波法に基づく検査を受ける場合があり、その際にはお使いの本製品を一時的に検査のためご提供いただく場合がございます。
- 「携帯電話の保守」と「稼動状況の把握」のために、お客様が利用されている携帯電話のIMEI情報を自動的にKDDI(株)に送信いたします。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 海外でご利用される場合は、その国／地域の法規制などの条件をあらかじめご確認ください。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』(本書)または『取扱説明書　詳細版』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。

■ こんな場所では、使用禁止！

- 自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。
- 航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

同梱品一覧

ご使用いただく前に、下記の同梱物がすべてそろっていることをご確認ください。

本体（電池フタ含む）

電池パック
（SCL21UAA）

- マイク付きステレオヘッドセット（試供品）
- 保証書
- 取扱説明書（本書）
- 設定ガイド

以下のものは同梱されていません。

- microSDメモリカード
- ACアダプタ
- microUSBケーブル
- Desktop Dock（SCL21PUA）
- HDMI変換ケーブル（SCL21HDA）

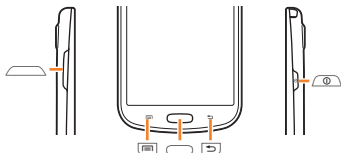
- 指定の充電用機器（別売）をお買い求めください。

目次

安全上のご注意

本書の表記方法について

■ 掲載されているキー表示について

本書では、キーの図を以下のように簡略化しています。

■ 項目／アイコン／キーなどを選択する操作の表記方法について

本書では、操作手順を以下のように表記しています。
タップとは、ディスプレイに表示されているキーやアイコンを指で軽く叩いて選択する動作です。

表記例	意味
ホーム画面で [メニュー]→[設定]→ [日付と時刻]	ホーム画面で[メニュー]をタップし、表示されるメニューから「設定」をタップして「日付と時刻」をタップします。

■ 掲載されているイラスト・画面表示について

- 本書に記載されているイラスト・画面は、実際の製品・画面とは異なる場合があります。また、画面の一部を省略している場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- 本書では「microSD™メモリカード」、「microSDHC™メモリカード」および「microSDXC™メモリカード」の名称を、「microSDメモリカード」もしくは「microSD」と省略しています。

免責事項について

- 地震・雷・風水害などの天災および当社の責任以外の火災、第三者による行為、その他の事故、お客様の故意または過失・誤用・その他異常な条件下での使用により生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の使用または使用不能から生ずる付随的な損害（記録内容の変化・消失、事業利益の損失、事業の中断など）に関して、当社は一切責任を負いません。
- 『取扱説明書』（本書）の記載内容を守らないことにより生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 当社が関与しない接続機器、ソフトウェアとの組み合わせによる誤動作などから生じた損害に関して、当社は一切責任を負いません。
- 本製品の故障・修理・その他取り扱いによって、撮影した画像データやダウンロードされたデータなどが変化または消失することがありますが、これらのデータの修復により生じた損害・逸失利益に関して、当社は一切責任を負いません。
- 大切なデータはコンピュータのハードディスクなどに保存しておくことをおすすめします。万一、登録された情報内容が変化・消失してしまうことがあっても、故障や障害の原因にかかわらず当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

※ 本書で表す「当社」とは、以下の企業を指します。
発売元：KDDI（株）・沖縄セルラー電話（株）
輸入元：SAMSUNG ELECTRONICS JAPAN CO., LTD.
製造元：Samsung Electronics Co., Ltd.

- 本書の内容の一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関して、将来予告なしに変更することがあります。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、万一、ご不審な点や記載漏れなどお気づきの点がございましたら、ご連絡ください。
- 乱丁、落丁はお取り替えいたします。

安全上のご注意(必ずお守りください)

■ **ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は大切に保管してください。**

この「安全上のご注意」には、本製品を使用するお客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、守っていただきたい事項を記載しています。

各事項は以下の区分に分けて記載しています。

■ **表示の説明**

表示	説明
⚠危険	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容」を示しています。
⚠警告	この表示は「人が死亡または重傷(※1)を負うことが想定される内容」を示しています。
⚠注意	この表示は「人が傷害(※2)を負うことが想定される内容や物的損害(※3)の発生が想定される内容」を示しています。

※1 重傷：失明・けが・やけど(高温・低温)・感電・骨折・中毒などで後遺症が残るもの、および治療に入院や長期の通院を要するものを指します。

※2 傷害：治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど(高温・低温)・感電などを指します。

※3 物的損害：家屋・家財および家畜・ペットにかかわる拡大損害を指します。

■ 図記号の説明

	禁止(してはいけないこと)を示す記号です。
	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
	分解してはいけないことを示す記号です。
	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
	必ず実行していただくこと(強制)を示す記号です。
	電源プラグをコンセントから抜いていただく(強制)内容を示しています。

■ 本体、電池パック、充電用機器、au Micro IC Card(LTE)、周辺機器共通

⚠危険　必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

必ず指定の周辺機器をご使用ください。指定の周辺機器以外を使用した場合、発熱・発火・破裂・故障・漏液の原因となります。

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、こたつの中、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で使用、保管、放置しないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

ガソリンスタンドなど、引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は、必ず事前に本製品の電源をお切りください。また、充電もしないでください。ガスに引火するおそれがあります。また、ガソリンスタンド構内などでおサイフケータイ®をご利用になる際は、必ず事前に電源を切った状態でご使用ください。（おサイフケータイ ロックを設定されている場合は、ロックを解除したうえで電源をお切りください。）

電子レンジなどの加熱調理機や高圧容器に入れないでください。発火・破裂・故障・火災・傷害の原因となります。

火の中に投入したり、加熱したりしないでください。発火・破裂・火災の原因となります。

接続端子をショートさせないでください。また、接続端子に導電性異物（金属片・鉛筆の芯など）が触れたり、内部に入らないようにしてください。火災や故障の原因となります。

金属製のアクセサリーなどをご使用になる場合は、充電の際に接続端子やコンセントなどに触れないように十分ご注意ください。感電・発火・傷害・故障の原因となります。

カメラのレンズに直接日光などを長時間当てないようにしてください。レンズの集光作用により、発火・破裂・火災の原因となります。

お客様による分解や改造、修理をしないでください。故障・発火・感電・傷害の原因となります。万一、改造などにより本体や周辺機器などに不具合が生じても当社では一切の責任を負いかねます。携帯電話の改造は電波法違反になります。

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

落下させる、投げつけるなどの強い衝撃を与えないでください。破裂・発熱・発火・故障の原因となります。

屋外で雷鳴が聞こえたときは使用しないでください。落雷・感電のおそれがあります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

本製品が落下などによって破損し、ディスプレイが割れたり、機器内部が露出した場合、割れたディスプレイや露出部に手を触れないでください。感電したり、破損部でけがをする場合があります。auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

水などの液体をかけないでください。また、水やペットの尿などが直接かかる場所や風呂場など湿気の多い場所での使用、または濡れた手での使用は絶対にしないでください。感電や電子回路のショート、腐食による故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。水濡れや湿気による故障は、保証の対象外となり有償修理となります。

電池フタを取り外す際、必要以上に力を入れないでください。電池パックが飛び出すなどして、けがや故障の原因となる場合があります。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中や歩きながらの操作はしないでください。安全性を損ない、事故の原因となります。

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をおやめください。漏液・発熱・破裂・発火の原因となります。

乳幼児の手の届く場所には置かないでください。小さな部品などの誤飲で窒息したり、誤って落下させたりするなど、事故や傷害の原因となる場合があります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

直射日光の当たる場所（自動車内など）や高温になる場所、極端に低温になる場所、湿気やほこりの多い場所に保管しないでください。発熱・発火・変形や故障の原因となる場合があります。

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。落下してけがや破損の原因となります。バイブレータ設定中は特にご注意ください。また、衝撃などにも十分ご注意ください。

使用中や充電中に、布団などで覆ったり、包んだりしないでください。火災・故障・傷害の原因となります。

外部から電源が供給されている状態の本体、指定のACアダプタ（別売）に長時間触れないでください。低温やけどの原因となる場合があります。

本製品を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。長時間肌に触れたまま使用していると、低温やけどの原因となる場合があります。

コンセントや配線器具は定格を超えて使用しないでください。たこ足配線などで定格を超えると、発熱による火災の原因となります。

電池フタを外したまま使用しないでください。

腐食性の薬品のそばや腐食性ガスの発生する場所に置かないでください。故障・内部データの消失の原因となります。

本体から電池フタを外したまま、放置・保管しないでください。内部にほこりなどの異物が入ると故障の原因となります。

使用中に煙が出たり、異臭や異音がする、過剰に発熱しているなどの異常が起きたときは使用をやめてください。充電中であれば、指定の充電用機器（別売）をコンセントまたはソケットから抜き、熱くないことを確認してから電源を切り、電池パックを外して、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、落下したり、破損した場合なども、そのまま使用せず、auショップまたは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。

マイク付きステレオヘッドセット（試供品）などを本製品に挿入して使用する場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり、長時間連続して使用したりすると耳に悪い影響を与えるおそれがあります。
また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

マイク付きステレオヘッドセット（試供品）などを本製品に挿入して音量を調節する場合は、少しずつ音量を上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

充電用機器や外部機器などをお使いになるときは、接続する端子に対してコネクタをまっすぐに抜き差ししてください。また、正しい方向で抜き差ししてください。破損・故障の原因となります。

■ 本体について

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

自動車・原動機付自転車・自転車運転中に携帯電話を使用しないでください。交通事故の原因となります。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています。また、自転車運転中の携帯電話の使用も法律などで罰せられる場合があります。

航空機内で本製品を使用しないでください。航空機内での電波を発する電子機器の使用は法律で禁止されています。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。

高精度な電子機器の近くでは、本製品の電源をお切りください。電子機器に影響を与える場合があります。（影響を与えるおそれがある機器の例：心臓ペースメーカー・補聴器・その他医用電気機器・火災報知機・自動ドアなど。医用電気機器をお使いの場合は機器メーカーまたは販売者に電波による影響についてご確認ください。）

植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器や医用電気機器の近くで本製品を使用する場合は、電波によりそれらの装置・機器に影響を与えるおそれがありますので、次のことをお守りください。

1. 植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着されている方は、本製品を植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器から22cm以上離して携行および使用してください。
2. 満員電車の中など混雑した場所では、付近に植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、本製品の電源を切るよう心がけてください。
3. 医療機関の屋内では次のことに注意してご使用ください。
   - 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）には本製品を持ち込まないでください。
   - 病棟内では、本製品の電源をお切りください。
   - ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、本製品の電源をお切りください。
   - 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
4. 医療機関の外で植え込み型心臓ペースメーカーおよび植え込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合（自宅療養など）は、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどにご確認ください。

通話・メール・インターネット・撮影・ゲームなどをするときや、テレビ(ワンセグ)視聴したり、音楽を聴くときなどは周囲の安全をご確認ください。転倒・交通事故の原因となります。

ライトをご使用になる場合は、人の目の前で発光させないでください。また、ライト点灯時は発光部を直視しないようにしてください。視力低下などの障がいを引き起こす原因となります。特に乳幼児に対して至近距離で撮影しないでください。

自動車や原動機付自転車、自転車などの運転者に向けてライトを点灯させないでください。目がくらんで運転不能になり、事故を起こす原因となります。

ごくまれに、点滅を繰り返す画面を見ていると、一時的に筋肉のけいれんや意識の喪失などの症状を起こす人がいます。こうした経験のある人は、事前に医師とご相談ください。

⚠注意　**必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

自動車内で使用する場合、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。安全走行を損なうおそれがありますので、その場合は使用しないでください。

皮膚に異常を感じたときは直ちに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じる場合があります。
本製品で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
ディスプレイ	強化ガラス	蒸着パターンフィルム
外装ケース	PC樹脂／マグネシウム	スズ蒸着
電池フタ	PC樹脂	－
ワンセグアンテナ先端部／軸部（プラスチック部分）	PC樹脂	UV塗装処理
ワンセグアンテナ軸部（金属部分）	ステンレス鋼	－
サイドキー（音量／ズームキー、電源／画面ロックキー）	PC樹脂	UV塗装処理
ホームキー	アルミニウム	アルマイト処理
受話口	ステンレス鋼	－
外側カメラ	アクリル	－
外側カメラ周辺部	PC樹脂	スズ蒸着
ライト	アクリル	－
スピーカー	ステンレス鋼	－
microUSB接続端子	ステンレス鋼／銅合金	スズメッキ／金メッキ
ヘッドセット接続端子	銅合金	金メッキ
microSDメモリカードスロット	ステンレス鋼	－
microSDメモリカードスロット（端子）	銅合金	金メッキ
au Micro IC Card（LTE）スロット	ステンレス鋼	ニッケルメッキ
au Micro IC Card（LTE）スロット（端子）	銅合金	金メッキ

キャッシュカード・フロッピーディスク・クレジットカード・テレホンカードなどの磁気を帯びたものを近づけたりしないでください。記録内容が消失される場合があります。

microSDメモリカードスロットに液体、金属体、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。火災・感電・故障の原因となります。

マイク付きステレオヘッドセット（試供品）やストラップなどを持って本製品を振り回さないでください。けがなどの事故や破損の原因となります。

テレビ（ワンセグ）視聴時以外ではワンセグアンテナを収納してください。ワンセグアンテナを引き出したままで通話などをすると顔などにあたり思わぬけがの原因となります。

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定にご注意ください。心臓に悪影響を及ぼす原因となります。

本体の吸着物にご注意ください。スピーカー部などには磁石を使用しているため、画鋲やピン、カッターの刃、ホチキスの針などの金属が付着し、思わぬけがをすることがあります。ご使用の際、スピーカー部などに異物がないかを必ず確かめてください。

砂浜などの上に直に置かないでください。受話口、送話口、スピーカー部などに砂などが入り音が小さくなったり、本体内に砂などが混入すると発熱や故障の原因となります。

通話・通信中などの使用中は、本体が熱くなることがありますので、長時間直接肌に触れさせたり、紙・布・布団などをかぶせたりしないでください。火災・やけど・故障の原因となる場合があります。

■ 電池パックについて

（本製品の電池パックは、リチウムイオン電池です。）
電池パックはお買い上げ時には、十分充電されていません。充電してからお使いください。

⚠危険　必ず、下記の危険事項をお読みになってからご使用ください。

電池パックのプラス（＋）とマイナス（－）をショートさせないでください。

電池パックを本製品に接続するときは、正しい向きで接続してください。誤った向きに接続すると、破裂・火災・発熱の原因となります。また、うまく接続できないときは無理せず、接続部を十分に確認してから接続してください。

釘をさしたり、ハンマーで叩いたり、踏み付けたりしないでください。発火や破損の原因となります。

持ち運ぶ際や保管するときは、金属片（ネックレスやヘアピンなど）などと接続端子が触れないようにしてください。ショートによる火災や故障の原因となる場合があります。

分解・改造をしたり、直接ハンダ付けをしたりしないでください。電池内部の液が飛び出し、目に入ったりして失明などの事故や発熱・発火・破裂の原因となります。

落としたり、踏み付けたり、破損や液漏れした電池パックを使用しないでください。液漏れや異臭がするときは直ちに火気から遠ざけてください。漏れた液に引火し、発火・破裂の原因となります。

電池パックを水やペット・海水・ペットの尿などで濡らさないでください。電池パックが濡れると発熱・破裂・発火の原因となります。誤って水などに落としたときは、直ちに電源を切り、電池パックを外して、auショップもしくは安心ケータイサポートセンターまでご連絡ください。また、濡れた電池パックは充電をしないでください。

液漏れして皮膚や衣服に付着した場合は、傷害をおこすおそれがありますので直ちに水で洗い流してください。また、目に入った場合は失明のおそれがありますのでこすらずに水で洗ったあと直ちに医師の診断を受けてください。機器に付着した場合は、液に直接触れないで拭き取ってください。

電池パックは消耗品です。充電しても使用時間が極端に短いなど、機能が回復しない場合には寿命ですのでご使用をおやめになり、指定の新しい電池パックをお買い求めください。発熱・発火・破裂・漏液の原因となります。なお、寿命は使用状態などにより異なります。

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。

■ 充電用機器について

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

指定以外の電源電圧では使用しないでください。発火・火災・発熱・感電などの原因となります。

- ACアダプタ（別売）：AC100～240V
- DC アダプタ（別売）：DC12V・24V（マイナスアース車専用）

指定の充電用機器(別売)の電源プラグはコンセントまたはシガーライタソケットに根元まで確実に差し込んでください。差し込みが不完全だと、感電や発熱・発火による火災の原因となります。指定の充電用機器(別売)が傷んでいるときや、コンセントまたはシガーライタソケットの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

共通DCアダプタ03(別売)のヒューズが切れたときは、指定(定格250V、1A)のヒューズと交換してください。指定以外のヒューズと交換すると、発熱・発火の原因となります。(ヒューズの交換は、共通DCアダプタ03(別売)の取扱説明書をよくご確認ください。)

指定の充電用機器(別売)のケーブルを傷付けたり、加工したり、ねじったり、引っ張ったり、重いものを載せたりしないでください。また、傷んだケーブルは使用しないでください。感電・ショート・火災の原因となります。

接続端子に手や指など身体の一部が触れないようにしてください。感電・傷害・故障の原因となる場合があります。

雷が鳴り出したら電源プラグに触れないでください。落雷による感電の原因となります。

お手入れをするときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。抜かないでお手入れをすると、感電や回路のショートの原因となります。また、指定の充電用機器(別売)の電源プラグに付いたほこりは拭き取ってください。そのまま放置すると火災の原因となります。

指定の充電用機器(別売)の電源プラグに付いたほこりは、拭き取ってください。火災・やけど・感電の原因となります。

車載機器などは、運転操作やエアーバッグなどの安全装置の妨げにならない位置に設置・配置してください。交通事故の原因となります。車載機器の取扱説明書に従って設置してください。

長時間使用しない場合は指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜いてください。感電・火災・故障の原因となります。

水やペットの尿など液体が直接かからない場所でご使用ください。発熱・火災・感電・電子回路のショートによる故障の原因となります。万一、液体がかかってしまった場合には直ちに指定の充電用機器(別売)の電源プラグを抜いてください。

⚠注意　**必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。**

風呂場など湿気の多い場所で使用したり、濡れた手で指定の充電用機器(別売)を抜き差ししないでください。感電や故障の原因となります。

充電は安定した場所で行ってください。傾いた場所やぐらついた台などに置くと、落下してけがや破損の原因となります。特にバイブレータ設定中はご注意ください。また、布や布団をかぶせたり、包んだりしないでください。火災・故障の原因となります。

指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから抜くときは、電源プラグを持って抜いてください。コードを引っ張るとコードが損傷するおそれがあります。

共通DCアダプタ03(別売)は、車のエンジンを切ったまま使用しないでください。車のバッテリー消耗の原因となります。

本体から電池パックを外した状態で指定の充電用機器(別売)を差したまま放置しないでください。発火・感電の原因となります。

■ au Micro IC Card(LTE)について

警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器にau Micro IC Card(LTE)を入れないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

au Micro IC Card(LTE)の取り付け・取り外しの際にご注意ください。手や指を傷付ける可能性があります。

au Micro IC Card(LTE)を使用する機器は、当社が指定したものをご使用ください。指定品以外のものを使用した場合は、データの消失や故障の原因となります。
指定品については、auショップもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。

au Micro IC Card(LTE)を分解、改造しないでください。データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)を火のそば、ストーブのそばなど、高温の場所で使用、放置しないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)を火の中に入れたり、加熱したりしないでください。溶損・発熱・発煙・データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)のIC(金属)部分に不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。データの消失・故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)を落としたり、衝撃を与えたりしないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)を折ったり、曲げたり、重い物を載せたりしないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)を濡らさないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)のIC(金属)部分を傷付けないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)はほこりの多い場所には保管しないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)保管の際には、直射日光が当たる場所や高温多湿な場所には置かないでください。故障の原因となります。

au Micro IC Card(LTE)は、乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込むと、窒息や傷害などの原因となります。

■ マイク付きステレオヘッドセット（試供品）について

⚠警告　必ず、下記の警告事項をお読みになってからご使用ください。

自転車や自動車などの運転中や歩きながらのゲームや音楽再生に使用しないでください。安全性を損ない事故の原因となります。

⚠注意　必ず、下記の注意事項をお読みになってからご使用ください。

ゲームや音楽再生などをする場合は、適度な音量に調節してください。音量が大きすぎたり長時間連続して使用したりすると難聴の原因となります。適度な音量であっても長時間の使用によっては難聴になるおそれがあります。また、音量を上げすぎると外部の音が聞こえにくくなり、踏切や横断歩道などで交通事故の原因となります。

ケーブルを本体に巻き付けて使用しないでください。感度が落ちて音声が途切れたり、雑音が入る場合があります。ケーブルを引っ張って抜かないようにしてください。また、ケーブルを持って本体を吊り上げないでください。ケーブルや接続プラグ、本体のヘッドセット接続端子が破損するおそれがあります。

接続プラグにゴミが付着しないようにご注意ください。故障の原因となります。

接続プラグは本体のヘッドセット接続端子に対してまっすぐ抜き差ししてください。

音量を調節する場合は、少しずつ上げて調節してください。始めから音量を上げすぎると、突然大きな音が出て耳に悪い影響を与えるおそれがあります。

皮膚に異常を感じたときはすぐに使用を止め、皮膚科専門医へご相談ください。お客様の体質・体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などを生じる場合があります。
マイク付きステレオヘッドセット（試供品）で使用している各部品の材質は次の通りです。

使用箇所	使用材質	表面処理
イヤホン外装	PC樹脂	UV塗装処理
イヤホン外装（金属部）	PC樹脂	AL蒸着＋UV塗装処理
イヤホン（ネック部）	PP樹脂＋NON-PVC	UV塗装処理
スイッチ付マイク外装	PC＋ABS樹脂	UV塗装処理
イヤーピース	シリコンゴム	−
ケーブル	NON-PVC	−
3.5mm接続プラグ（ボディ）	PP樹脂＋NON-PVC	−
3.5mm接続プラグ（金属部）	真鍮	金メッキ

取り扱い上のお願い

性能を十分に発揮できるようにお守りいただきたい事項です。よくお読みになって、正しくご使用ください。

■ 本体、電池パック、充電用機器、au Micro IC Card(LTE)、周辺機器共通

- 本製品に無理な力がかからないように使用してください。多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、中で重い物の下になったりしないよう、ご注意ください。衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板などの破損、故障の原因となります。また、外部機器をmicroUSB接続端子やヘッドセット接続端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。外部に損傷がなくても保証の対象外となります。
- 極端な高温・低温・多湿の場所では使用しないでください。(周囲温度5℃～35℃、湿度35%～85%の範囲内でご使用ください。)
- ほこりや振動の多い場所では使用しないでください。
- 接続端子をときどき乾いた綿棒などで掃除してください。汚れていると接触不良の原因となる場合があります。また、このとき強い力を加えて接続端子を変形させないでください。
- お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになることがあります。またアルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、外装の印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 一般電話・テレビ・ラジオをお使いになっている近くで使用すると影響を与える場合がありますので、なるべく離れてご使用ください。

- 充電中など、ご使用状況によっては本製品が温かくなることがありますが異常ではありません。
- お子様がお使いになるときは、保護者の方が『取扱説明書』(本書)または『取扱説明書　詳細版』をよくお読みになり、正しい使いかたをご指導ください。
- 電池パックは電源を切ってから取り外してください。電源を切らずに電池パックを取り外すと、保存されたデータが変化・消失するおそれがあります。

■ 本体について

- 強く押す、叩くなど故意に強い衝撃をディスプレイに与えないでください。傷の発生や破損の原因となる場合があります。
- キーやディスプレイの表面に爪や鋭利な物、硬い物などを強く押し付けないでください。傷の発生や破損の原因となります。
  タッチパネルは指で軽く触れるように設計されています。指で強く押したり、先のとがったもの(爪/ボールペン/ピンなど)を押し付けたりしないでください。
  以下の場合はタッチパネルに触れても動作しないことがあります。また、誤動作の原因となりますのでご注意ください。
  - 手袋をしたままでの操作
  - 爪の先での操作
  - 異物を操作面に乗せたままでの操作
  - 保護シートやシールなどを貼っての操作
  - ディスプレイに水滴が付着または結露している状態での操作
  - 濡れた指または汗で湿った指での操作
  - 水中での操作
- 本体(電池パックを取り外した携帯電話本体の背面)に貼ってあるIMEIの印刷されたシールは、お客様が使用されている本製品および通信モジュールが電波法および電気通信事業法に適合したものであることを証明するものですので、はがさないでください。

- 改造されたau電話は絶対に使用しないでください。改造された機器を使用した場合は電波法に抵触します。
本製品は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明などを受けており、その証として、「技適マーク〒」が本体の銘板シールに表示されております。
本体のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明などが無効となります。技術基準適合証明などが無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 本製品は不法改造を防止するために容易に分解できない構造になっています。また、改造することは電波法で禁止されています。
- 本製品に登録された連絡先・メール・お気に入りなどの内容は、事故や故障・修理、その他取り扱いによって変化・消失する場合があります。大切な内容は必ず控えをお取りください。万一内容が変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切の責任は負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品に保存されたコンテンツデータ(有料・無料は問わない)などは、故障修理などによる交換の際に引き継ぐことはできませんので、あらかじめご了承ください。
- 本製品で使用している有機ELディスプレイは、非常に高度な技術で作られていますが、一部に点灯しないドット(点)や常時点灯するドット(点)が存在する場合があります。また、見る角度によっては色調が変化したり、明るさのむらが見える場合があります。これらは有機ELディスプレイの特性によるもので、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。
- 有機ELディスプレイは、同じ画像を長く表示し続けたり、「ディスプレイ」の「明るさ」の設定を常に明るい設定にして極度の連続使用を行うと、部分的にディスプレイの照度が落ちますが、これらは有機ELディスプレイの特性によるもので故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

- 有機ELディスプレイに直射日光を当てたまま放置すると、故障の原因となります。窓際や屋外に置くときはご注意ください。
- 本製品の温度上昇や電池残量の低下などにより、ディスプレイの輝度が落ちる場合があります。
- 公共の場でご使用の際は、周りの方の迷惑にならないようご注意ください。
- 撮影などした写真／動画データや音楽データは、メール添付の利用などにより個別にパソコンに控えを取っておくことをおすすめします。ただし、著作権保護が設定されているデータなど、上記の手段でも控えが取れないものもありますので、あらかじめご了承ください。
- 磁気カードやスピーカー、テレビなど磁力を有する機器を本製品に近づけると故障の原因となる場合がありますのでご注意ください。強い磁気を近づけると誤動作の原因となります。
- ポケットやカバンなどに収納するときは、ディスプレイが金属などの硬い部材に当たらないようにしてください。傷の発生や破損の原因となります。また金属などの硬い部材がディスプレイに触れるストラップは、傷の発生や破損の原因となる場合がありますのでご注意ください。
- 寒い場所から急に暖かい場所に移動させた場合や、湿度の高い場所、エアコンの吹き出し口の近くなど温度が急激に変化するような場所で使用された場合、本製品内部に水滴が付くことがあります（結露といいます）。このような条件下でのご使用は湿気による腐食や故障の原因となりますのでご注意ください。
- ディスプレイを拭くときは柔らかい布で乾拭きしてください。濡らした布やガラスクリーナーなどを使うと故障の原因となります。
- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に外部機器を接続するときは、microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に対して外部機器のコネクタがまっすぐになるように抜き差ししてください。

- microUSB接続端子やヘッドセット接続端子に外部機器を接続した状態で無理な力を加えると、破損の原因となりますのでご注意ください。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となったau電話の回収にご協力ください。auショップなどでau電話の回収を行っております。
- 本製品のmicroSDメモリカードスロットには、microSDメモリカード以外のものは挿入しないでください。
- microSDメモリカードの取り付け･取り外しの際に、必要以上の力を入れないでください。手や指を傷付ける場合があります。
- microSDメモリカードのデータ書き込み中や読み出し中に、振動や衝撃を与えたり、電池パックを取り外したり、電源を切ったりしないでください。データの消失･故障の原因となります。
- 受話音声をお聞きになるときは、受話口が耳の中央に当たるようにしてお使いください。受話口(音声穴)が耳周囲にふさがれて音声が聞きづらくなる場合があります。
- 送話口をおおって相手の方に声が伝わらないようにしても、相手の方に声が伝わりますのでご注意ください。
- ハンズフリー通話をご使用の際はスピーカーから大きな音が出る場合があります。耳から十分に離すなど、注意してご使用ください。
- 電池フタは確実に取り付けてください。FeliCa機能が正しく動作しない場合があります。また、電池フタを変形させたり、電池フタ内側の黒いシートが貼ってある部分を強く押したり、黒いシートをはがしたりすると、FeliCa通信に障害が発生するおそれがあります。
- 電池フタを取り外した本体背面のコンタクト部分は、強い力で押さないでください。FeliCa通信に障害が発生するおそれがあります。

- 電池フタを取り外した本体背面の各アンテナ部分に貼られている黒いシートははがさないでください。各種アンテナが破損したり、通話／通信の品質に影響を及ぼすおそれがあります。
- 照度センサーを指でふさいだり、照度センサーの上にシールなどを貼ると、周囲の明暗に照度センサーが反応できずに、正しく動作しない場合がありますのでご注意ください。
- 近接センサーの上にシールなどを貼ると、センサーが誤動作し着信中や通話中にディスプレイの表示が常に消え、操作が行えなくなる場合がありますのでご注意ください。
- 送話口（2箇所）を指などでふさがないようご注意ください。自分の声が相手に伝わらない場合があります。上部の送話口をふさぐと、動画の音声が録音できなくなる可能性があります。

■ タッチパネルについて

- タッチパネル操作は指で行ってください。ボールペンや鉛筆など先が鋭いもので操作しないでください。正しく動作しないだけでなく、ディスプレイへの傷の発生や、破損の原因となる場合があります。
- ディスプレイにシールやシート類（市販の保護フィルムや覗き見防止シートなど）を貼らないでください。タッチパネルが正しく動作しない原因となる場合があります。
- 爪先でタッチパネル操作をしないでください。爪が割れたり、突き指などけがの原因となる場合があります。
- ディスプレイ表面が汚れていたり、汗や水で濡れていると、誤動作の原因となります。その場合は柔らかい布でディスプレイ表面を乾拭きしてください。
- ポケットやカバンなどに入れて持ち運ぶ際は、タッチパネルに金属などの伝導性物質が近づいた場合、タッチパネルが誤動作する場合がありますのでご注意ください。

■ 電池パックについて

- 夏期、閉めきった自動車内に放置するなど、極端な高温や低温環境では電池パックの容量が低下し、ご利用できる時間が短くなります。また、電池パックの寿命も短くなります。できるだけ常温でお使いください。
- 長期間使用しない場合は、本体から電池パックを外し、高温多湿を避けて保管してください。
- 初めてお使いのときや長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に充電してください。
- 電池パックは消耗品です。充電しても機能が回復しない場合は寿命ですので、指定の電池パックをご購入ください。なお、寿命は使用状態などによって異なります。
- 通常のゴミと一緒に捨てないでください。環境保護と資源の有効利用をはかるため、不要となった電池パックの回収にご協力ください。auショップなどで使用済み電池パックの回収を行っております。
- 電池パックは、ご使用条件により寿命が近づくにつれて膨れる場合があります。これはリチウムイオン電池の特性であり、安全上の問題はありません。

■ 充電用機器について

- ご使用にならないときは、指定の充電用機器(別売)の電源プラグをコンセントまたはシガーライタソケットから外してください。
- 指定の充電用機器(別売)の電源コードを充電用機器本体に巻きつけないでください。感電、発熱、火災の原因となります。
- 指定の充電用機器(別売)の電源プラグやコネクタと電源コードの接続部を無理に曲げたりしないでください。感電、発熱、火災の原因となります。

■ au Micro IC Card(LTE)について

- au Micro IC Card(LTE)は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますのでご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。
- au Micro IC Card(LTE)の取り外し、および挿入時には、必要以上に力を入れないようにしてください。ご使用になるau電話への挿入には必要以上の負荷がかからないようにしてください。
- ほかのICカードリーダー/ライターなどに、au Micro IC Card(LTE)を挿入して故障した場合は、お客様の責任となりますのでご注意ください。
- au Micro IC Card(LTE)のIC(金属)部分はいつもきれいな状態でご使用ください。お手入れは乾いた柔らかい布(めがね拭きなど)で拭いてください。
- au Micro IC Card(LTE)にシールなどを貼らないでください。

■ カメラ機能について

- カメラ機能をご使用の際は、一般的なモラルをお守りのうえご使用ください。
- 本製品の故障・修理・その他の取り扱いによって、撮影した画像データが変化または消失することがあり、この場合、当社は変化または消失したデータの修復や、データの変化または消失によって生じた損害、逸失利益について一切の責任を負いません。
- 大切な撮影(結婚式など)をするときは、試し撮りをし、画像を再生して正しく撮影されていることをご確認ください。
- 販売されている書籍や、撮影の許可されていない情報の記録には使用しないでください。
- カメラのレンズに直射日光が当たる状態で放置しないでください。素子の退色・焼付けを起こすことがあります。

■ 音楽／動画／テレビ（ワンセグ）機能について

- 自動車や原動機付自転車、自転車などの運転中は、音楽や動画およびテレビ（ワンセグ）を視聴しないでください。自動車・原動機付自転車運転中の携帯電話の使用は法律で禁止されています（自転車運転中の使用も法律などで罰せられる場合があります）。また、歩行中でも周囲の交通に十分ご注意ください。周囲の音が聞こえにくく、表示に気を取られ交通事故の原因となります。特に踏切、駅のホームや横断歩道ではご注意ください。
- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聴くと、聴力に悪い影響を与えることがありますのでご注意ください。
- 電車の中など周囲に人がいる場合には、マイク付きステレオヘッドセット（試供品）などからの音漏れにご注意ください。

■ 著作権／肖像権について

- お客様が本製品で撮影・録音したデータやインターネット上からダウンロードなどで取得したデータの全部または一部が、第三者の有する著作権で保護されている場合、個人で楽しむなどの他は、著作権法により、権利者に無断で複製、頒布、公衆送信、改変などはできません。
  また、他人の肖像や氏名を無断で使用・改変などをすると肖像権の侵害となるおそれがありますので、そのようなご利用もお控えください。
  なお、実演や興行、展示物などでは、個人で楽しむなどの目的であっても、撮影・録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
- 撮影したフォトなどをインターネットホームページなどで公開する場合は、著作権や肖像権に十分ご注意ください。

■ 本製品の記録内容の控え作成のお願い

- ご自分で本製品に登録された内容や、外部から本製品に取り込んだ内容で、重要なものは控え※1をお取りください。本製品のメモリは、静電気・故障などの不測の要因や、修理・誤った操作などにより、記録内容が消えたり変化することがあります。
  ※1控え作成の手段：
  連絡先のデータや音楽データ、撮影したフォトやムービーなど、重要なデータはmicroSDメモリカードに保存しておいてください。または、メールに添付して送信したり、パソコンに転送しておいてください。ただし、上記の手段でも控えが作成できないデータがあります。あらかじめご了承ください。

■ ご利用いただく各種暗証番号について

本製品をご使用いただく場合に、各種の暗証番号をご利用いただきます。
ご利用いただく暗証番号は次の通りとなります。設定された各種の暗証番号は各種操作・ご契約に必要となりますので、お忘れにならないようご注意ください。

● 暗証番号

使用例	① お留守番サービス、着信転送サービスを一般電話から遠隔操作する場合 ② お客さまセンター音声応答、auホームページでの各種照会・申込・変更をする場合
初期値	申込書にお客様が記入した任意の4桁の番号

● 画面ロック解除用パターン／PIN／パスワード

使用例	画面ロックの設定／解除をする場合
初期値	なし

● PINコード

使用例	第三者によるau Micro IC Card（LTE）の無断使用を防ぐ場合

初期値	1234

● パスワード（おサイフケータイ ロック設定）

使用例	「おサイフケータイ ロック設定」を利用する場合
初期値	なし

■ PINコードについて

● PINコード

第三者によるau Micro IC Card（LTE）の無断使用を防ぐため、電源を入れるたびにPINコードの入力を必要にすることができます。また、PINコードの入力要否を設定する場合にも入力が必要となります。

PINコードは3回連続で間違えるとコードがロックされます。ロックされた場合は、PINロック解除コードを利用して解除できます。

- お買い上げ時のPINコードは「1234」、入力要否は「入力不要」に設定されていますが、お客様の必要に応じてPINコードは4～8桁のお好きな番号、入力要否は「入力必要」に変更できます。

● PINロック解除コード

PINコードがロックされた場合に入力することでロックを解除できます。

- PINロック解除コードは、au Micro IC Card（LTE）が取り付けられていたプラスティックカード裏面に印字されている8桁の番号で、お買い上げ時にはすでに決められています。
- PINロック解除コードを入力した場合は、新しくPINコードを設定してください。
- PINロック解除コードを10回連続で間違えた場合は、auショップ・PiPitもしくはお客さまセンターまでお問い合わせください。
- 「PINコード」はデータの初期化を行ってもリセットされません。

Bluetooth®/無線LAN(Wi-Fi®)機能について

- 本製品のBluetooth®機能および無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内規格、FCC規格およびEC指令に準拠し、認証を取得しています。
  本製品の5GHz帯無線LAN(Wi-Fi®)機能は、日本国内の規格に準拠し、認証を取得しています。海外でご利用いただくことはできません。
- 無線LAN(Wi-Fi®)やBluetooth®機器が使用する2.4GHz帯は、さまざまな機器が運用されています。場合によっては他の機器の影響によって通信速度や通信距離が低下することや、通信が切断することがあります。
- 電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
- 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります(特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります)。
- テレビ、ラジオなどの近くで使用すると受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
- 近くに複数の無線LAN(Wi-Fi®)アクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 航空機内での使用はできません。Wi-Fi 対応の航空機内であっても、必ず電源をお切りください。ただし、一部の航空会社ではご利用いただける場合もございます。詳細はご搭乗される航空会社にお問い合わせください。
- 通信機器間の距離や障害物、接続する機器により、通信速度や通信できる距離は異なります。

■ 2.4GHz帯ご使用上の注意

本製品のBluetooth®機能/無線LAN(Wi-Fi®)機能は2.4GHz帯を使用します。この周波数帯では、電子レン

ジなどの家電製品や産業・科学・医療用機器のほか、ほかの同種無線局、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定の小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「ほかの無線局」と略す）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「ほかの無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万一、本製品と「ほかの無線局」との間に電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに本製品の使用場所を変えるか、または機器の運用を停止（電波の発射を停止）してください。
3. ご不明な点やその他お困りのことが起きた場合は、auショップもしくはお客さまセンターまでご連絡ください。

memo

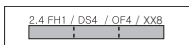
◎ 本製品はすべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との接続動作を確認したものではありません。したがって、すべてのBluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）対応機器との動作を保証するものではありません。

◎ 無線通信時のセキュリティとして、Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）の標準仕様に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、使用環境および設定内容によってはセキュリティが十分でない場合が考えられます。Bluetooth®・無線LAN（Wi-Fi®）によるデータ通信を行う際はご注意ください。

◎ 無線LAN（Wi-Fi®）は、電波を利用して情報のやりとりを行うため、電波の届く範囲であれば自由にLAN接続できる利点があります。その反面、セキュリティの設定を行っていないときは、悪意ある第三者により不正に侵入されるなどの行為をされてしまう可能性があります。お客様の判断と責任において、セキュリティの設定を行い、使用することを推奨します。

◎ Bluetooth®･無線LAN（Wi-Fi®）通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につきましては、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
◎ Bluetooth®と無線LAN（Wi-Fi®）は同じ無線周波数帯を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いのBluetooth®、無線LAN（Wi-Fi®）のいずれかの使用を中止してください。

本製品のBluetooth®機能および無線LAN（Wi-Fi®）機能は、2.4GHz帯の周波数を使用します。

2.4 FH1 / DS4 / OF4 / XX8

- Bluetooth®機能：2.4FH1/XX8
本製品は2.4GHz帯を使用します。FH1は変調方式としてFH-SS変調方式を採用し、与干渉距離は約10m以下です。XX8はその他の方式を採用し、与干渉距離は約80m以下です。
- 無線LAN（Wi-Fi®）機能：2.4DS/OF4
本製品は2.4GHz帯を使用します。変調方式としてDS-SS方式およびOFDM方式を採用しています。与干渉距離は約40m以下です。

：全帯域を使用し、移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

利用可能なチャンネルは、国により異なります。
航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

■ 5GHz帯ご使用上の注意

本製品の無線LAN（Wi-Fi®）機能は5GHz帯を使用します。電波法により5.2GHz帯および5.3GHz帯の屋外利用は禁止されております。
本製品が使用するチャンネルは以下の通りです。
W52（5.2GHz帯／36, 40, 44, 48ch）

W53（5.3GHz帯／52, 56, 60, 64ch）
W56（5.6GHz帯／100, 104, 108, 112, 116, 120, 124, 128, 132, 136, 140ch）

パケット通信料についてのご注意

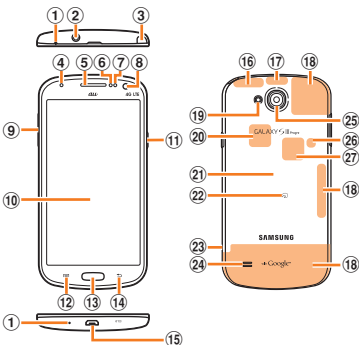
- 本製品は常時インターネットに接続される仕様であるため、アプリケーションなどにより自動的にパケット通信が行われる場合があります。このため、ご利用の際はパケット通信料が高額になる場合がありますので、パケット通信料定額／割引サービスへのご加入をおすすめします。
- 本製品でのホームページ閲覧や、アプリケーションなどのダウンロード、アプリケーションによる通信、Eメールの送受信、各種設定を行う場合に発生する通信はインターネット経由での接続となり、パケット通信は有料となります。
  ※ 無線LAN（Wi-Fi®）接続の場合はパケット通信料はかかりません。

Google Play／au Market／アプリケーションについて

- アプリケーションのインストールは安全であることを確認のうえ、自己責任において実施してください。アプリケーションによっては、ウイルスへの感染や各種データの破壊、お客様の位置情報や利用履歴、携帯電話内に保存されている個人情報などがインターネットを通じて外部に送信される可能性があります。
- 万一、お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより不具合が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。
- お客様がインストールを行ったアプリケーションなどにより、お客様ご自身または第三者への不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

- アプリケーションによっては、microSDメモリカードをセットしていないとご利用できない場合があります。
- アプリケーションの中には動作中スリープモードに入らなくなったり、バックグラウンドで動作して電池の消耗が激しくなるものがあります。
- 本製品に搭載されているアプリケーションやインストールしたアプリケーションは、アプリケーションのバージョンアップによって操作方法や画面表示が予告なく変更される場合があります。また、本書に記載の操作と異なる場合がありますのであらかじめご了承ください。

ご利用の準備

各部の名称と機能

① **送話口／マイク**※1
上部の送話口／マイクは、ハンズフリー通話中と動画撮影時にのみ動作します。
下部の送話口／マイクは、通話時、音声認識時、ボイスレコーダー録音時などに動作します。

② **ヘッドセット接続端子**

③ **ワンセグアンテナ**

④ **通知LED**
ディスプレイの表示が消えているとき（バックライト消灯時）のみ、不在着信などの通知や充電の状態などを示します。

⑤ **受話口**

⑥ **近接センサー**※2

通話中に顔などの接近を検知して、ディスプレイの表示を消します。

⑦ **近接・照度センサー**※2

顔などの接近や周囲の明るさを検知して、ディスプレイの表示を消したり、明るさを自動調整します。

⑧ **内側カメラ**

⑨ **音量／ズームキー**

⑩ **ディスプレイ(タッチパネル)**

⑪ **電源／画面ロックキー**

電源のON／OFFに使用します。また、電源が入っているときに押すと、画面ロックを設定できます。

⑫ **メニューキー**

操作状況に応じたメニューを表示します。

⑬ **ホームキー**

ホーム画面に戻ります。

⑭ **バックキー**

1つ前の画面に戻します。

⑮ **microUSB接続端子**

⑯ **Bluetooth®／Wi-Fi®アンテナ部分**※3

⑰ **GPSアンテナ部分**※3

⑱ **内蔵アンテナ部分**※3

⑲ **ライト**

⑳ **microSDメモリカードスロット**

㉑ **電池フタ**

㉒ **FeliCaマーク**

㉓ **ストラップ穴**

ストラップは、電池フタを外してから取り付けます。

㉔ **スピーカー**

㉕ **外側カメラ**

㉖ **コンタクト部分**

FeliCa通信に使用します。

㉗ **au Micro IC Card(LTE)スロット**

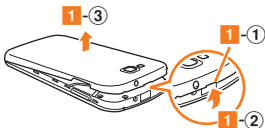
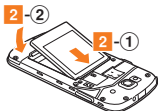
※1 ハンズフリー通話中や動画撮影中は、本体上部の送話口を指などでふさがないようご注意ください。自分の声が相手に伝わらない場合や、動画の音声が録音できない場合があります。
※2 近接センサーや照度センサーは、保護シートなどでふさがないようにしてください。機能が正常に動作しない場合があります。
※3 アンテナは本体に内蔵されています。アンテナ部付近を手でおおうと、通話／通信の品質に影響を及ぼす場合があります。

電池パックを取り付ける／取り外す

電池パックの取り付け／取り外しは、電源を切ってから行います。

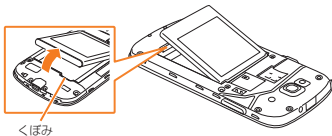
- 本製品専用の電池パックをご使用ください。

■ 電池パックを取り付ける

1 電池フタの 1-① の部分に指(爪)を入れて、1-②の方向に少し持ち上げ、1-③の方向に向けて取り外す

2 本体と電池パックの端子部を合わせ(2-①)、電池パックを2-②の方向へ押し込む

3 電池フタの向きを確認して本体に合わせるように装着し、しっかりと押しながらすき間がないように取り付ける

■ 電池パックを取り外す

1 電池フタを取り外す（▶P.45）

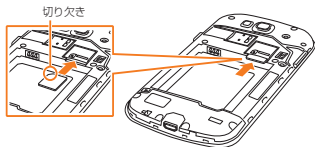
2 本体のくぼみを利用して電池パックに指（爪）をかけ、矢印の方向に持ち上げて取り外す

au Micro IC Card(LTE)を取り付ける／取り外す

au Micro IC Card(LTE)の取り付け／取り外しは、本製品の電源を切り、電池パックを取り外してから行います。

- au Micro IC Card(LTE)のIC(金属)部分や、本体のICカード用端子には触れないでください。
- 無理な取り付け／取り外しはしないでください。

au Micro IC Card(LTE)を取り付ける

1 電池フタ・電池パックを取り外し(▶P.46)、au Micro IC Card(LTE)の IC(金属)面を下にし、図の向きでau Micro IC Card(LTE)スロットの奥までまっすぐ差し込む

差し込むと、まずau Micro IC Card(LTE)スロット内のガイドに軽く当たります。そのまま、「カチッ」と音がするまで、奥に差し込んでください。

au Micro IC Card(LTE)を取り外す

1 電池フタ・電池パックを取り外し(▶P.46)、au Micro IC Card(LTE)を「カチッ」と音がするまで軽く押し込む

「カチッ」と音がしたら指(爪)を添えたままゆっくり手前に戻してください。au Micro IC Card(LTE)が少し飛び出します。

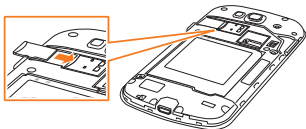
2 au Micro IC Card(LTE)をまっすぐ引き抜く

microSDメモリカードを取り付ける／取り外す

・ 無理な取り付け／取り外しはしないでください。

■ microSDメモリカードを取り付ける

1 電池フタを取り外し（▶P.45）、microSDメモリカードの端子（金属）面を下にし、図の向きでmicroSDメモリカードスロットの奥までまっすぐ差し込む

カチッと音がするまで差し込んでください。音がする前に指を離すと、microSDメモリカードが飛び出すことがありますのでご注意ください。

■ microSDメモリカードを取り外す

microSDメモリカードの取り外しは、必ずマウント（読み書き可能状態）を解除してから行います。

1 ホーム画面で ［≡］ →［設定］→［ストレージ］→［外部SDカードのマウント解除］→［OK］

マウントが解除されるとステータスバーに［SD］が表示されます。

2 電池フタを取り外し（▶P.45）、microSDメモリカードを軽く押し込む

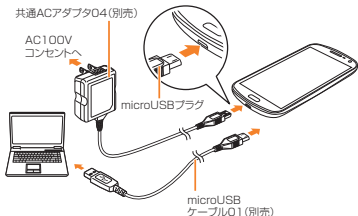
強く押し込んだ状態で指を離すと、microSDメモリカードが勢いよく飛び出すことがありますのでご注意ください。

3 microSDメモリカードをまっすぐ引き抜く

ご利用の準備

充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず充電してからお使いください。

- 充電中は、画面ロック解除画面（▶P.51）の日時の下に「充電中：XX%」が表示されます。

※指定のACアダプタ（別売）とパソコンを同時に使って充電することはできません。

■ 指定のACアダプタ（別売）を使って充電する

充電には指定のACアダプタ（別売）が必要です。ここでは、共通ACアダプタ04（別売）を使って充電する方法を説明します。

1 **共通ACアダプタ04（別売）のmicroUSBプラグの刻印面を上にして、本製品のmicroUSB接続端子にまっすぐに差し込む**

2 **共通ACアダプタ04（別売）の電源プラグをAC100Vコンセントに差し込む**

充電開始音が鳴り、ステータスバーに［充電中アイコン］が表示されます。充電が完了すると、ステータスバーに［100%アイコン］が表示されます。

3 **充電が終わったら、共通ACアダプタ04（別売）のmicroUSBプラグを本製品からまっすぐ引き抜き、電源プラグをコンセントから抜く**

■ パソコンを使って充電する

パソコンを使って充電するには、microUSBケーブル01（別売）が必要です。

1 **microUSBケーブル01（別売）のmicroUSBプラグの刻印面を上にして、本製品のmicroUSB接続端子にまっすぐに差し込む**

2 **microUSB ケーブル 01（別売）の USB プラグをパソコンのUSBポートに差し込む**

充電開始音が鳴り、ステータスバーにが表示されます。充電が完了すると、ステータスバーにが表示されます。

パソコン上に新しいハードウェアの検索などの画面が表示された場合は、「キャンセル」を選択してください。

3 **充電が終わったら、microUSB ケーブル01（別売）を本製品とパソコンから取り外す**

電源を入れる

1 **（1秒以上長押し）**

画面ロック解除画面が表示されます。

2 **画面を上下左右にスワイプして、画面ロックを解除**

■ 電源を切る

1 **（1秒以上長押し）**

2 **[電源OFF]→[OK]**

■ 初期設定について

お買い上げ後、初めて本製品の電源を入れたときは、自動的に初期設定画面が表示されます。画面の指示に従って、各機能の設定を行ってください。詳しくは、本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。

画面ロックを設定する

画面ロックを設定すると、画面のバックライトが消灯し、キーやタッチパネルの誤動作を防止できます。
また、本製品では、設定した時間が経過すると、自動的に画面のバックライトが消灯して画面ロックがかかります。

- 本製品をかばんなどに入れて持ち運ぶ際は、誤操作防止のため、必ず画面ロックを設定し、[電源キー]や[ホームキー]が押されないようにしてください。

1 画面表示中に[電源キー]

バックライトが消灯し、画面ロックが設定されます。

■ 画面ロックを解除する

1 画面ロック中に[電源キー]／[ホームキー]

画面ロック解除画面が表示されます。

2 画面を上下左右にスワイプして、画面ロックを解除

基本操作

ホーム画面を利用する

ホーム画面は複数の画面で構成されており、左右にフリックすると切り替えることができます。
を押すと、いつでもホーム画面を表示することができます。

① **ウィジェット**
　タップすると起動や操作ができます。

② **ショートカット**
　タップするとアプリケーションなどを起動できます。

③ **ホーム画面の位置**
　現在表示中の画面の位置が表示されます。

④ **クイックアクセスパネル**
　ホーム画面を切り替えても表示されます。
　タップして、アプリケーションを起動したり、アプリ一覧画面を表示させることができます。

アプリケーションを起動する

1 ホーム画面で[アプリ]

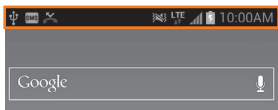
アプリ一覧画面が表示されます。左右にフリックすると、アプリ一覧画面を切り替えられます。

- 画面上部のタブをタップするとウィジェット一覧画面やダウンロード済みアプリケーションの一覧画面に切り替えられます。

2 使用するアプリケーションのアイコンをタップ

本製品の状態を知る

ステータスバーについて

ステータスバーは本製品の画面上部にあります。ステータスバーには不在着信や新着メール、実行中の動作などをお知らせする通知アイコン、本製品の状態を表すステータスアイコンが表示されます。

主な通知アイコン	
	不在着信あり
	新着PCメールあり
	新着SMSあり
	USB接続中

主なステータスアイコン	
/	電波の強さ／圏外
/	電池レベル状態／充電中

主なステータスアイコン	
	マナーモード(バイブ)設定中
	マナーモード(サイレント)設定中
	機内モード設定中

■ 通知パネルについて

ステータスバーに通知アイコンが表示されているときは、ステータスバーを下にスライドして通知パネルを開くと、通知の概要を確認できます。また、通知パネルのアイコンをタップして機能を設定したり、通知情報などを確認したりすることができます。

① **バイブ/サイレント/マナーモード解除を切り替え**
② **接続中のネットワークの通信事業者名**
③ **進行中/実行中の情報など**
④ **不在着信などの通知情報(お知らせ)**
⑤ **通知情報(お知らせ)の表示を消去**
⑥ **上にスライドして通知パネルを閉じる**

■ 通知LEDについて

画面消灯時は、通知LEDの点灯/点滅により、充電を促したり、充電中の充電状態、不在着信やメールの受信などをお知らせしたりします。

動作	説明
赤で点灯	充電中
緑で点灯	充電完了
赤で点滅	電池残量が残りわずか
青で点滅	不在着信や新着メールなどの通知あり／音声録音中
青で点灯	電源を切ってシャットダウン中

※充電中に通知がある場合は、通知をお知らせする動作（青で点滅）が優先されます。

設定メニューを表示する

設定メニューから本製品の各種機能を設定･管理します。

1 ホーム画面で［≡］→［設定］

設定メニュー画面が表示されます。

■ 設定メニュー項目一覧

モード変更

ホーム画面の表示モードを設定します。

Wi-Fi

無線LAN（Wi-Fi®）機能を設定します。

Bluetooth

Bluetooth®機能を設定します。

データ使用量

データ通信量の表示やデータ通信の使用上限を設定します。

その他の設定

機内モードやVPN、テザリングなどの通信に関する設定を行います。

サウンド

マナーモードやバイブレータ（振動）、着信音、通知音、操作音など、音に関する設定を行います。

ディスプレイ
フォントや明るさ、画面の向きなど、画面表示に関する設定を行います。
壁紙
ホーム画面やロック画面の壁紙の設定を行います。
LEDインジケーター
通知LEDに関する設定を行います。
モーション
本体の傾きなどを感知して本製品を操作することができるモーションの設定を行います。
省電力モード
電池の消費を抑えるための設定を行います。
ストレージ
microSDメモリカードや本体内のメモリ容量の確認、初期化を行います。
バッテリー
電池残量や使用量を表示します。
アプリケーション管理
ダウンロードしたアプリケーションを確認したり、実行中のアプリケーションに関する設定を行います。
アカウントと同期
オンラインサービスのアカウント管理や、データ同期に関する基本設定を行います。
位置情報サービス
無線LAN（Wi-Fi®）機能やGPS機能などを使った位置情報に関する設定を行います。
セキュリティ
画面ロックの設定などセキュリティに関する設定を行います。
言語と文字入力
表示言語の設定、文字入力関連の設定を行います。
バックアップとリセット
データのバックアップの設定や、データの初期化を行います。
アクセサリ
Desktop Dock（別売）接続時の動作やHDMI出力などの設定を行います。

日付と時刻
日付と時刻の表示形式などの設定を行います。
ユーザー補助
通話終了時の動作や、ユーザー補助サービスの設定を行います。
開発者向けオプション
USBデバッグや擬似ロケーションなど、開発者向けの設定を行います。
端末情報
電話番号や電池残量などの情報を確認できます。ソフトウェア更新もここから行います。

■ 自分の電話番号を確認する

1. **設定メニュー画面→[端末情報]→[ステータス]**
「電話番号」に自分の電話番号が表示されます。

■ マナーモードを設定する

マナーモード設定中でも、カメラ撮影時のシャッター音や、動画再生、音楽再生、アラームなどは消音されません。

1. **設定メニュー画面→[サウンド]→[サウンドプロファイル]**
2. **[サウンド]/[バイブ]/[サイレント]**

■ 機内モードを設定する

機内モードを設定すると、ワイヤレス機能(電話、パケット通信、無線LAN(Wi-Fi®)機能、Bluetooth®機能)がすべてオフになります。

1. **設定メニュー画面→[その他の設定]**
2. **「機内モード」にチェックを入れる→[OK]**

緊急通報位置通知について

本製品は、警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際、お客様の現在地（GPS情報）が緊急通報先に通知されます。

- 警察（110）・消防機関（119）・海上保安本部（118）について、ここでは緊急通報受理機関と記載します。
- 本機能は、一部の緊急通報受理機関でご利用いただけない場合もあります。
- 緊急通報番号（110、119、118）の前に「184」を付加した場合は、電話番号と同様にお客様の現在地を緊急通報受理機関に知らせることができません。
- GPS衛星または基地局の信号による電波を受信しづらい、地下街・建物内・ビルの陰では、実際の現在地と異なる位置が、緊急通報受理機関へ通知される場合があります。
- GPS測位方法で通知できない場合は、基地局信号により、通知されます。
- 警察・消防機関・海上保安本部への緊急通報の際には、必ずお客様の所在地をご確認のうえ、口頭でも正確な住所をお伝えくださいますようお願いいたします。なお、おかけになった地域によっては、管轄の通報先に接続されない場合があります。
- 緊急通報した際は、通話中もしくは通話切断後一定の時間内であれば、緊急通報受理機関が、人の生命、身体などに差し迫った危険があると判断した場合には、発信者の位置情報を取得する場合があります。

au災害対策アプリ

au災害対策アプリについて

au災害対策アプリは、災害用伝言板や、緊急速報メール（緊急地震速報、災害·避難情報、津波警報）、災害用音声お届けサービスを利用することができるアプリです。

1 アプリ一覧画面で［au災害対策］

au災害対策メニューが表示されます。

災害用伝言板を利用する

災害用伝言板とは、震度6弱程度以上の地震などの大規模災害発生時に、被災地域のお客様がLTE NET上から自己の安否情報を登録することが可能となるサービスです。登録された安否情報はau電話をお使いの方のほか、他社携帯電話やパソコンなどからも確認していただくことが可能です。詳しくは、auホームページの「災害用伝言板サービス」をご参照ください。

- 安否情報の登録を行うには、Eメールアドレス（@ezweb.ne.jp）が必要です。あらかじめ、メールアドレスを設定しておいてください。メールアドレスの設定については本製品同梱の『設定ガイド』をご参照ください。
- 無線LAN（Wi-Fi®）接続中は、削除および安否お知らせメールの設定変更はご利用いただけません。
- 当社は、本サービスの品質を保証するものではありません。本サービスへのアクセスの集中や設備障害に伴う安否情報の登録にかかわる不具合、安否情報の破損、滅失などによる損害または登録された安否情報に起因する損害につきましては原因の如何によらず、一切の責任を負いかねます点、ご了解のうえご利用ください。

1 au災害対策メニュー→［災害用伝言板］

以降は、画面の指示に従って登録／確認を行ってください。

緊急速報メールを利用する

緊急速報メールとは、気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報、国や地方公共団体が配信する災害・避難情報を、特定エリアのau電話に一斉にお知らせするサービスです。

※お買い上げ時は、緊急速報メール(緊急地震速報および災害・避難情報)の「受信設定」は「受信する」に設定されています。津波警報の受信設定は、災害・避難情報の設定にてご利用いただけます。
緊急地震速報を受信した場合は、周囲の状況に応じて身の安全を確保し、状況に応じた、落ち着きのある行動をお願いいたします。
津波警報を受信したときは、直ちに海岸から離れ、高台や頑丈な高いビルなど安全な場所に避難してください。

- 緊急速報メール受信時は、専用の警報音が鳴動します。警報音は変更できません。
- 緊急地震速報とは、最大震度5弱以上と推定した地震の際に、強い揺れ(震度4以上)が予測される地域をお知らせするものです。
- 地震の発生直後に、震源近くで地震(P波、初期微動)をキャッチし、位置、規模、想定される揺れの強さを自動計算し、地震による強い揺れ(S波、主要動)が始まる数秒～数十秒前に、可能な限りすばやくお知らせします。
- 震源に近い地域では、緊急地震速報が強い揺れに間に合わないことがあります。
- 津波警報とは、気象庁から配信される津波警報(大津波、津波)を、対象沿岸を含む地域へお知らせするものです。
- 災害・避難情報とは、国や自治体から配信される避難勧告や避難指示、各種警報などの住民の安全にかかわる情報をお知らせするものです。
- 日本国内のみのサービスです(海外ではご利用になれません)。
- 緊急速報メールは、情報料・通信料とも無料です。
- 当社は、本サービスに関して、通信障害やシステム障害による情報の不達・遅延、および情報の内容、その他当社の責に帰すべからざる事由に起因して発生したお客様の損害について責任を負いません。
- 気象庁が配信する緊急地震速報や津波警報の詳細については、気象庁ホームページをご参照ください。
http://www.jma.go.jp/

- 電源を切っているときや通話中は、緊急速報メールを受信できません。
- SMS／Eメール送受信時やブラウザ利用時などの通信中であったり、サービスエリア内でも電波の届かない場所（トンネル、地下など）や電波状態の悪い場所では、緊急速報メールを受信できない場合があります。
- 受信に失敗した緊急速報メールを、再度受信することはできません。
- テレビやラジオ、その他伝達手段により提供される緊急地震速報とは配信するシステムが異なるため、緊急地震速報の到達時刻に差異が生じる場合があります。
- お客様の現在地と異なる地域に関する情報を受信する場合があります。

1 **au災害対策メニュー→[緊急速報メール]**

確認したいメールを選択するとメールの詳細を確認できます。

災害用音声お届けサービスを利用する

災害用音声お届けサービスとは、大規模災害時にスマートフォンで音声を録音し、安否を届けたい方へ音声メッセージとしてお届けするサービスです。

1 **au災害対策メニュー→[災害用音声お届けサービス]**

画面の指示に従って、サービスを選択してください。詳しくは、『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。

付録

周辺機器のご紹介

- 電池パック（SCL21UAA）
- Desktop Dock（SCL21PUA）※1
- ポータブル充電器02（0301PFA）※1
- 共通DCアダプタ03（0301PEA）※1
- auキャリングケースFブラック（0105FCA）※1
- HDMI変換ケーブル（SCL21HDA）※1
- microUSBケーブル01（0301HVA）※1
  microUSBケーブル01 ネイビー（0301HBA）※1
  microUSBケーブル01 グリーン（0301HGA）※1
  microUSBケーブル01 ピンク（0301HPA）※1
  microUSBケーブル01 ブルー（0301HLA）※1
- AC Adapter JUPITRIS（ホワイト）（L02P001W）※1
  AC Adapter JUPITRIS（レッド）（L02P001R）※1
  AC Adapter JUPITRIS（ブルー）（L02P001L）※1
  AC Adapter JUPITRIS（ピンク）（L02P001P）※1
  AC Adapter JUPITRIS（シャンパンゴールド）（L02P001N）※1
  共通ACアダプタ03（0301PQA）※1
  共通ACアダプタ03 ネイビー（0301PBA）※1
  共通ACアダプタ03 グリーン（0301PGA）※1
  共通ACアダプタ03 ピンク（0301PPA）※1
  共通ACアダプタ03 ブルー（0301PLA）※1
  共通ACアダプタ04（0401PWA）※1

※1 別売

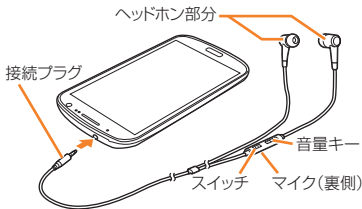
memo

◎ 最新の対応周辺機器につきましては、auホームページ(http://www.au.kddi.com/)にてご確認いただくか、お客さまセンターまでお問い合わせください。
◎ 周辺機器は、auオンラインショップからご購入いただけます。
http://auonlineshop.kddi.com/

マイク付きステレオヘッドセット(試供品)を使用する

マイク付きステレオヘッドセット(試供品)を接続すると、スイッチを押すことでかかってきた電話に出たり、通話を終了することができます。また、スイッチを1秒以上長押しすると「音楽」アプリケーションが起動し、スイッチを押すたびに再生／一時停止の切り替えができます。

1 マイク付きステレオヘッドセット(試供品)の接続プラグを本製品のヘッドセット接続端子に接続

付録

故障とお考えになる前に

こんなときは	ご確認ください
電源が入らない	電池パックは充電されていますか？
	電池パックは正しく取り付けられていますか？
	を1秒以上押していますか？
充電ができない	電池パックは正しく取り付けられていますか？
	指定のACアダプタ(別売)の電源プラグがコンセントに確実に差し込まれていますか？
電池パックを利用できる時間が短い	(圏外)が表示される場所での使用が多くありませんか？
	電池パックが寿命となっていませんか？
キー／タッチパネルの操作ができない	画面ロックが設定されていませんか？
	電源は入っていますか？ ・電源を切り、もう一度電源を入れ直してみてください。
画面照明が暗い	「省電力モード」が設定されていませんか？
microSDメモリカードを認識しない	microSDメモリカードは正しくセットされていますか？
	microSDメモリカードのマウントが解除されていませんか？

気になる症状の項目を確認しても症状が改善されないときは、以下のauのホームページ、auお客さまサポートでご案内しております。

http://cs.kddi.com/support/komatta/kosho/index.html

ソフトウェアを更新する

最新のソフトウェアに更新することで、最適なパフォーマンスを実現し、最新の拡張機能を入手できます。

- 更新前にデータのバックアップをされることをおすすめします。
- 十分に充電してから更新してください。電池残量が少ない場合や、更新途中で電池残量が不足するとソフトウェア更新に失敗します。
- 電波状態をご確認ください。電波の受信状態が悪い場所では、ソフトウェア更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新中は操作できません。110番(警察)、119番(消防機関)、118番(海上保安本部)へ電話をかけることもできません。また、アラームなども動作しません。
- ソフトウェア更新に失敗すると、本製品が使用できなくなる場合があります。本製品が使用できなくなった場合は、auショップもしくはPiPit(一部ショップを除く)にお持ちください。

■ ソフトウェアをダウンロードして更新する

インターネット経由で、本製品から直接更新ソフトウェアをダウンロードできます。

1 ホーム画面で [メニュー] →[設定]

2 [端末情報]→[ソフトウェア更新]

3 [更新]

以降は、画面の指示に従って操作してください。

■ パソコンに接続して更新する

「Samsung Kies」を使って、パソコンからソフトウェアを更新できます。詳しくは、『取扱説明書 詳細版』をご参照ください。

アフターサービスについて

■ 修理を依頼されるときは

修理については安心ケータイサポートセンターまでお問い合わせください。

保証期間中	保証書に記載されている当社無償修理規定に基づき修理いたします。
保証期間外	修理により使用できる場合はお客様のご要望により、有償修理いたします。

- メモリの内容などは、修理する際に消えてしまうことがありますので、控えておいてください。なお、メモリの内容などが変化・消失した場合の損害および逸失利益につきましては、当社では一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 修理の際、当社の品質基準に適合した再利用部品を使用することがあります。
- 交換用携帯電話機お届けサービスにて回収した今までお使いのau電話は、再生修理した上で交換用携帯電話機として再利用します。また、auアフターサービスにて交換した機械部品は、当社にて回収しリサイクルを行います。そのため、お客様へ返却することはできません。

■ 補修用性能部品について

当社はこのGALAXY SⅢ Progre本体およびその周辺機器の補修用性能部品を、製造終了後4年間保有しております。補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保証書について

保証書は、お買い上げの販売店で、「販売店名、お買い上げ日」などの記入をご確認のうえ、内容をよくお読みいただき、大切に保管してください。

■ 安心ケータイサポートプラスについて

au電話を長期間安心してご利用いただくために、月額会員アフターサービス制度「安心ケータイサポートプラス」をご用意しています（月額399円、税込）。故障や盗難・紛失など、あらゆるトラブルの補償を拡大するサービスです。本サービスの詳細については、auホームページをご確認いただくか、安心ケータイサポートセンターへお問い合わせください。

- ご入会は、au電話のご購入時のお申し込みに限ります。
- ご退会された場合は、次回のau電話のご購入時まで再入会はできません。
- 機種変更・端末増設などをされた場合、最新の販売履歴のあるau電話のみが本サービスの提供対象となります。
- au電話を譲渡・承継された場合、安心ケータイサポートプラスの加入状態は譲受者に引き継がれます。
- 機種変更・端末増設などにより、新しい au 電話をご購入いただいた場合、以前にご利用のau電話に対する「安心ケータイサポートプラス」は自動的に退会となります。
- サービス内容は予告なく変更する場合があります。

■ au Micro IC Card（LTE）について

au Micro IC Card（LTE）は、auからお客様にお貸し出ししたものになります。紛失・破損の場合は、有償交換となりますので、ご注意ください。なお、故障と思われる場合、盗難・紛失の場合は、auショップもしくはPiPitまでお問い合わせください。

■ アフターサービスについて

アフターサービスについてご不明な点がございましたら、下記の窓口までお問い合わせください。

お客さまセンター（紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について）

一般電話からは	フリーコール 0077-7-113（通話料無料）
au電話からは	局番なしの113（通話料無料）

付録

安心ケータイサポートセンター(紛失・盗難・故障について)
一般電話／au電話からは
0120-925-919(通話料無料)
受付時間 9:00～21:00(年中無休)

■ auアフターサービスの内容について

サービス内容	安心ケータイサポートプラス会員	安心ケータイサポートプラス非会員
交換用携帯電話機お届けサービス		
自然故障(1年目)	無料	補償なし
自然故障(2年目以降)	お客様負担額 1回目:5,250円 2回目:8,400円	補償なし
部分破損、水濡れ、全損、盗難、紛失	お客様負担額 1回目:5,250円 2回目:8,400円	補償なし
預かり修理		
自然故障(1年目)	無料	無料
自然故障(2年目以降)	無料(3年保証)	実費負担
部分破損	お客様負担額 上限5,250円	実費負担
水濡れ、全損、盗難、紛失	補償なし	補償なし (機種変更対応)

※金額は全て税込

交換用携帯電話機お届けサービス

◎ au電話がトラブルにあわれた際、お電話いただくことでご指定の送付先に交換用携帯電話機(同一機種･同一色、新品電池含む)をお届けします。故障した今までお使いのau電話は、交換用携帯電話機がお手元に届いてから14日以内にご返却ください。

◎ 本サービスをご利用された日を起算日として、1年間に2回までご利用可能です。本サービス申し込み時において過去1年以内に本サービスのご利用がない場合は1回目、ご利用がある場合は2回目となります。

※詳細はauホームページでご確認ください。

預かり修理

◎ 水濡れ･全損はこの対象とはなりません。

◎ お客様の故意･改造(分解改造･部品の交換･塗装など)による損害や故障の場合は補償の対象となりません。

◎ 外装ケースの汚れや傷、塗装の剥れなどによるケース交換は割引の対象となりません。

主な仕様

ディスプレイ	約4.8インチ 約1600万色
	1,280×720ドット(HD)
質量	約141g(電池パック含む)
サイズ (幅×高さ×厚さ)	約71mm×139mm×9.4mm(最厚部10.1mm)
CPU	MSM8960
ユーザーメモリ	約25GB

連続待受時間※1	国内	約340時間※2 約280時間※3
	海外（GSM／UMTS）	約360時間
	海外（CDMA）	約240時間：　アメリカ本土／中国本土 約310時間：　ハワイ ※対象国は2012年10月時点
連続通話時間※1	国内	約750分
	海外（GSM／UMTS）	約680分
	海外（CDMA）	約950分：アメリカ本土／中国本土／ハワイ ※対象国は2012年10月時点
連続テザリング時間		WAN側3G：約580分 WAN側LTE：約360分
充電時間		共通ACアダプタ04（別売）使用時：約150分 共通DCアダプタ03（別売）使用時：約440分
カメラ	撮像素子	CMOS
	有効画素数	外側：約810万画素 内側：約190万画素
無線LAN（Wi-Fi®）機能		IEEE802.11a/b/g/n準拠※4
Bluetooth®機能	対応バージョン	Bluetooth®標準規格Ver.4.0+LE
	出力	Bluetooth®標準規格Power Class 1
	通信距離※5	見通しの良い状態で10m以内

Bluetooth®機能	対応プロファイル※6	OPP（Object Push Profile） HSP（Headset Profile） HFP（Hands-Free Profile） A2DP（Advanced Audio Distribution Profile） AVRCP（Audio/Video Remote Control Profile） SPP（Serial Port Profile） PBAP（Phone Book Access Profile） HID（Human Interface Device Profile） PAN（Personal Area Networking Profile） DUN（Dial-up Networking Profile）※7
	使用周波数帯	2.4GHz帯 （2.402GHz～2.480GHz）
ワンセグ（連続視聴可能時間）		約4時間20分

※1　連続通話時間・連続待受時間は、充電状態・気温などの使用環境・使用場所の電波状態・機能の設定などによって半分以下になることもあります。
※2　3G使用時
※3　LTE使用時
※4　IEEE802.11nは2.4GHz、5GHzに対応しています。
※5　通信機器間の障害物や電波状態により変化します。
※6　Bluetooth®機器同士の使用目的に応じた仕様のことで、Bluetooth®標準規格で定められています。
※7　ご利用いただくには「カーナビデータ通信設定」アプリが必要です。「カーナビデータ通信設定」アプリは［auポータル］→［メニューリスト］からダウンロードしてください。一部のカーナビゲーションシステムのみに対応しています。
ご利用にあたっては、au総合カタログおよびauホームページをご参照ください。

携帯電話機の比吸収率などについて

この機種GALAXY SⅢ Progreの携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合しています。この携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準※1ならびに、これと同等な国際ガイドラインが推奨する電波防護の許容値を遵守するよう設計されています。
この国際ガイドラインは世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が定めたものであり、その許容値は使用者の年齢や健康状況に関係なく十分な安全率を含んでいます。国の技術基準および国際ガイドラインは電波防護の許容値を人体頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR: Specific Absorption Rate）で定めており、携帯電話機に対するSARの許容値は2.0W/kgです。この携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.275W/kgです。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。一般的には、基地局からの距離が近いほど、携帯電話機の出力は小さくなります。
この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）を用いて携帯電話機を身体に装着して使用することで、この携帯電話機は電波防護の国際ガイドラインを満足します※2。
KDDI推奨のauキャリングケースFブラック（0105FCA）（別売）をご使用にならない場合には、身体から1.5センチ以上の距離に携帯電話機を固定でき、金属部分の含まれていない製品をご使用ください。
世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影

付録

響も確立されていません。』と表明しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。
（http://www.who.int/docstore/peh-emf/publications/facts_press/fact_japanese.htm）
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、以降に記載の各ホームページをご参照ください。

○総務省のホームページ：
http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm
○一般社団法人電波産業会のホームページ：
http://www.arib-emf.org/index02.html
○auのホームページ：
http://www.au.kddi.com/
○SAMSUNGのホームページ：
http://www.samsung.com/jp/support/sar/sarMain.do

※1 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。
※2 携帯電話機本体を側頭部以外でご使用になる場合のSAR の測定法については、2010 年 3 月に国際規格（IEC62209-2）が制定されました。国の技術基準については、2011年10月に、諮問第118号に関して情報通信審議会情報通信技術分科会より一部答申されています。

付録

索引

英数字

あ

か

付録

さ

た

は

ま

付録

FCC notice

- This device complies with part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions: (1) This device may not cause harmful interference, and (2) this device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.
- Changes or modifications not expressly approved by the manufacturer responsible for compliance could void the user's authority to operate the equipment.

■ Information to User

This equipment has been tested and found to comply with the limits of a Class B digital device, pursuant to Part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation. This equipment generates, uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications.
However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation; if this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

1. Reorient/relocate the receiving antenna.
2. Increase the separation between the equipment and receiver.

3. Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
4. Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

FCC RF exposure information

Your handset is a radio transmitter and receiver. It is designed and manufactured not to exceed the emission limits for exposure to radio frequency (RF) energy set by the Federal Communications Commission of the U.S. Government.
The guidelines are based on standards that were developed by independent scientific organisations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The standards include a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health.
The exposure standard for wireless handsets employs a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit set by the FCC is 1.6 W/kg.
The tests are performed in positions and locations (e.g., at the ear and worn on the body) as required by the FCC for each model. The highest SAR value for this model handset when tested for use at the ear is 0.75 W/kg and when worn on the body, as described in this user guide, is 0.69 W/kg.

Body-worn operation

This device was tested for typical body-worn operations with the back of the handset kept 1.5 cm from the body. To maintain compliance with

FCC RF exposure requirements, use accessories that maintain a 1.5 cm separation distance between the user's body and the back of the handset. The use of belt clips, holsters and similar accessories should not contain metallic components in its assembly.
The use of accessories that do not satisfy these requirements may not comply with FCC RF exposure requirements, and should be avoided.
The FCC has granted an Equipment Authorization for this model handset with all reported SAR levels evaluated as in compliance with the FCC RF emission guidelines. SAR information on this model handset is on file with the FCC and can be found under the Display Grant section of http://www.fcc.gov/oet/ea/fccid/ after searching on FCC ID A3LSWDSCL21.
Additional information on Specific Absorption Rates (SAR) can be found on the Cellular Telecommunications & Internet Association (CTIA) Website at http://www.ctia.org/.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health.

The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear was 0.341 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this user guide. In this case, the highest tested SAR value is 0.343 W/kg.
As SAR is measured utilizing the devices highest transmitting power the actual SAR of this device while operating is typically below that indicated above. This is due to automatic changes to the power level of the device to ensure it only uses the minimum level required to reach the network.

Declaration of Conformity

Product details

For the following

Product : GSM WCDMA BT/WiFi Mobile Phone
Model(s) : CDMA SCL21

CE0168ⓘ

Declaration & Applicable standards

We hereby declare, that the product above is in compliance with the essential requirements of the R&TTE Directive (1999/5/EC) by application of:

SAFETY EN 60950-1 : 2006 + A12 : 2011

SAR EN 50360 : 2001 / AC 2006
EN 62209 - 1 : 2006
EN 62479 : 2010

	EN 62209 - 2 : 2010
	EN 62311 : 2008
EMC	EN 301 489-01 V1.9.2 (09-2011)
	EN 301 489-24 V1.5.1 (10-2010)
	EN 301 489-07 V1.3.1 (11-2005)
	EN 301 489-17 V2.1.1 (05-2009)
RADIO	EN 301 511 V9.0.2 (03-2003)
	EN 301 908-1 V5.2.1 (05-2011)
	EN 301 908-2 V5.2.1 (07-2011)
	EN 301 893 V1.6.1 (11-2011)
	EN 300 328 V1.7.1 (10-2006)

and the Directive (2011/65/EU) on the restriction of the use of certain hazardous substances in electrical and electronic equipment.

The conformity assessment procedure referred to in Article 10 and detailed in Annex[Ⅳ] of Directive 1999/5/EC has been followed with the involvement of the following Notified Body(ies):

TÜV SÜD BABT, Forsyth House, Churchfield Road,
Walton-on-Thames,
Surrey, KT12 2TD, UK ※
Identification mark: 0168

■ Representative in the EU

Samsung Electronics Euro QA Lab.
Blackbushe Business Park
Saxony Way, Yateley, Hampshire
GU46 6GG, UK

2012.10.08

(Place and date of issue)

Joong-Hoon Choi / Lab. Manager

(Name and signature of authorized person)

※ This is not the address of Samsung Service Centre. For the address or the phone number of Samsung Service Centre, see the warranty card or contact the retailer where you purchased your product.

輸出管理規制

本製品および付属品は、日本輸出管理規制(「外国為替及び外国貿易法」およびその関連法令)の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制(Export Administration Regulations)の適用を受ける場合があります。本製品および付属品を輸出および再輸出する場合は、お客様の責任および費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

知的財産権について

■ 商標について

本書に記載している会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

- microSDロゴ、microSDHCロゴ、microSDXCロゴはSD-3C, LLCの商標です。
- BluetoothおよびBluetoothロゴは、Bluetooth SIG. Inc.の登録商標であり、ライセンスを受けて使用しています。
- Wi-Fi®、Wi-Fi Protected Setup™、Wi-Fi Direct™、Wi-Fi CERTIFIED™とWi-Fiロゴは、Wi-Fi Allianceの登録商標です。
- Excel®、PowerPoint®は、米国Microsoft Corporationの米国及びその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft® Wordは、米国Microsoft Corporationの商品名称です。
- 音楽認識テクノロジーおよび関連データは、Gracenote®により提供されます。
  Gracenoteは、音楽認識テクノロジーおよび関連コンテンツ配信の業界標準です。
  詳細については、次のWebサイトをご覧ください:
  www.gracenote.com
  GracenoteからのCDおよび音楽関連データ:
  Copyright ©2000-present Gracenote.
  Gracenote Software:Copyright 2000-present Gracenote.
  この製品およびサービスは、以下に挙げる米国特許の1つまたは複数を実践している可能性があります:
  #5,987,525、#6,061,680、#6,154,773、#6,161,132、#6,230,192、#6,230,207、

#6,240,459、#6,330,593、およびその他の取得済みまたは申請中の特許。
一部のサービスは、ライセンスの下、米国特許(#6,304,523)用にOpen Globe, Inc.から提供されました。
GracenoteおよびCDDBはGracenoteの登録商標です。Gracenoteのロゴとロゴタイプ、および「Powered by Gracenote」ロゴはGracenoteの商標です。
Gracenoteサービスの使用については、次のWebページをご覧ください:
www.gracenote.com/corporate

- 「おサイフケータイ®」は株式会社NTTドコモの登録商標です。
- FeliCaはソニー株式会社が開発した非接触ICカードの技術方式です。
  FeliCaはソニー株式会社の登録商標です。
- は、フェリカネットワークス株式会社の登録商標です。
- 「Google」、「Google」ロゴ、「Android」、「Android」ロゴ、「Google Play」、「Google Play」ロゴ、「Gmail」、「Google Calendar」、「Google ウォレット」、「Google マップ」、「Google トーク」、「Google Latitude」、「Google+」、「Google+ローカル」、「Picasa」および「YouTube」は、Google Inc.の商標または登録商標です。
- 文字変換は、オムロンソフトウェア株式会社のiWnnを使用しています。iWnn® OMRON SOFTWARE Co., Ltd. 2008-2012 All Rights Reserved.
- Microsoft®、Windows Media®、ActiveSync®は、米国Microsoft Corporationの、米国またはその他の国における商標または登録商標です。
- 本製品のソフトウェアの一部分に、Independent JPEG Groupが開発したモジュールが含まれています。
- OracleとJavaは、Oracle Corporation及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標です。文中の社名、商品名等は各社の商標または登録商標である場合があります。

- DivX®、DivX Certified®、およびこれらの関連ロゴは、Rovi Corporationおよびその子会社の登録商標であり、ライセンス許諾に基づき使用しています。
  DIVXビデオについて:DivX®は、Rovi Corporationの子会社であるDivX, LLC.が開発したデジタルビデオフォーマットです。本製品は、DivXビデオの再生に対応した正規のDivX Certified®(DivX認証)デバイスです。詳細情報およびビデオファイルをDivX形式に変換するためのソフトウェアについては、divx.comをご覧ください。
  DIVXビデオオンデマンドについて:DivXビデオオンデマンド(VOD)コンテンツを再生するには、この DivX Certified®(DivX認証)デバイスを登録する必要があります。登録コードは、デバイスセットアップメニューのDivX VODセクションで確認できます。詳細情報と登録方法については、vod.divx.comをご覧ください。
  プレミアムコンテンツを含む最高HD 720pのDivX®ビデオ再生対応のDivX Certified®(DivX認証)取得済み。最高HD 1080pのDivX®ビデオも再生できる場合があります。
- DLNA、DLNA CERTIFIEDは、Digital Living Network Allianceの商標です。
- 本製品には、絵文字画像として株式会社NTTドコモから利用許諾を受けた絵文字が含まれています。
- その他本文中に記載されている会社名および商品名は、各社の商標または登録商標です。

■ Windowsの表記について

本書では各OS(日本語版)を以下のように略して表記しています。

- Windows 7は、Microsoft® Windows® 7 (Starter、Home Basic、Home Premium、Professional、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows Vistaは、Microsoft® Windows Vista® (Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate)の略です。
- Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたは

Microsoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。

■ その他

本製品に搭載されているソフトウェアまたはその一部につき、改変、翻訳・翻案、リバース・エンジニアリング、逆コンパイル、逆アッセンブルを行ったり、それに関与してはいけません。

本製品は、MPEG-4 Visual Patent Portfolio Licenseに基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する場合においてのみ使用することが認められています。

- MPEG-4 Visualの規格に準拠する動画(以下、MPEG-4 Video)を記録する場合
- 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録されたMPEG-4 Videoを再生する場合
- MPEG-LA よりライセンスを受けた提供者により提供されたMPEG-4 Videoを再生する場合

プロモーション、社内用、営利目的などその他の用途に使用する場合には、米国法人MPEG LA, LLCにお問い合わせください。

- 本製品は、AVC ポートフォリオライセンスに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)AVC規格準拠のビデオ(以下「AVCビデオ」と記載します)を符号化するライセンス、および/または(ii)AVCビデオ(個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたAVCビデオ、および/またはAVCビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したAVCビデオに限ります)を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。
- 本製品は、VC-1 Patent Portfolio Licenseに基づき、お客様が個人的に、且つ非商業的な使用のために(i)

付録

VC-1規格準拠のビデオ（以下「VC-1ビデオ」と記載します）を符号化するライセンス、および／または（ii）VC-1ビデオ（個人的で、且つ商業的活動に従事していないお客様により符号化されたVC-1ビデオ、および／またはVC-1ビデオを提供することについてライセンス許諾されているビデオプロバイダーから入手したVC-1ビデオに限ります）を復号するライセンスが許諾されております。その他の使用については、黙示的にも一切のライセンス許諾がされておりません。さらに詳しい情報については、MPEG LA, LLCから入手できる可能性があります。http://www.mpegla.com をご参照ください。

Gracenote®エンドユーザー使用許諾契約書

本ソフトウエア製品または本電器製品には、カリフォルニア州エメリービル市のGracenote, Inc.（以下「Gracenote」とする）から提供されているソフトウェアが含まれています。本ソフトウエア製品または本電器製品は、Gracenote社のソフトウェア（以下「Gracenoteソフトウェア」とする）を利用し、音楽CDや楽曲ファイルを識別し、アーティスト名、トラック名、タイトル情報（以下「Gracenoteデータ」とする）などの音楽関連情報をオンラインサーバー或いは製品に実装されたデータベース（以下、総称して「Gracenoteサーバー」とする）から取得するとともに、取得されたGracenoteデータを利用し、他の機能も実現しています。お客様は、本ソフトウエア製品または本電器製品の使用用途以外に、つまり、エンドユーザー向けの本来の機能の目的以外にGracenoteデータを使用することはできません。
お客様は、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを非営利的かつ個人的目的にのみに使用することについて、同意するものとします。

付録

お客様は、いかなる第三者に対しても、Gracenoteソフトウェアや Gracenoteデータを、譲渡、コピー、転送、または送信しないことに同意するものとします。**お客様は、ここに明示的に許諾されていること以外の目的に、Gracenote データ、Gracenote ソフトウェア、またはGracenoteサーバーを使用または活用しないことに同意するものとします。**
お客様は、お客様がこれらの制限に違反した場合、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーを使用するための非独占的な使用許諾契約が解除されることに同意するものとします。また、お客様の使用許諾契約が解除された場合、お客様はGracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバー全ての使用を中止することに同意するものとします。
Gracenoteは、Gracenoteデータ、Gracenoteソフトウェア、およびGracenoteサーバーの全ての所有権を含む、全ての権利を保有します。いかなる場合においても、Gracenoteは、お客様が提供する任意の情報に関して、いかなる支払い義務もお客様に対して負うことはないものとします。お客様は、Gracenote, Inc.が本契約上の権利をGracenoteとして直接的にお客様に対し、行使できることに同意するものとします。
Gracenoteのサービスは、統計的処理を行うために、クエリ調査用の固有の識別子を使用しています。無作為に割り当てられた数字による識別子を使用することにより、Gracenoteサービスを利用しているお客様を認識しながらも、特定することなしにクエリを数えられるようにしています。詳細については、Web ページ上の、Gracenoteのサービスに関するGracenoteプライバシーポリシーを参照してください。
GracenoteソフトウェアとGracenoteデータの個々の情報は、お客様に対して「現状有姿」のままで提供され、使用が許諾されるものとします。Gracenote は、Gracenoteサーバーにおける全てのGracenoteデー

付録

タの正確性に関して、明示的または黙示的を問わず、一切の表明や保証をしていません。Gracenoteは、妥当な理由があると判断した場合、Gracenoteサーバーからデータを削除したり、データのカテゴリを変更したりする権利を保有するものとします。Gracenote ソフトウェアまたはGracenoteサーバーにエラー、障害のないことや、或いは Gracenote ソフトウェアまたはGracenoteサーバーの機能に中断が生じないことの保証は致しません。Gracenoteは、将来Gracenoteが提供する可能性のある、新しく拡張や追加されるデータタイプまたはカテゴリを、お客様に提供する義務を負わないものとします。また、Gracenote は、任意の時点でサービスを中止できるものとします。

- **Gracenote は、黙示的な商品適合性保証、特定目的に対する商品適合性保証、権利所有権、および非侵害性についての責任を負わないものとし、これに限らず、明示的または黙示的ないかなる保証もしないものとします。Gracenoteは、お客様によるGracenoteソフトウェアまたは任意のGracenoteサーバーの利用により、得る結果について保証しないものとします。いかなる場合においても、Gracenoteは結果的損害または偶発的損害、或いは利益の損失または収入の損失に対して、一切の責任を負わないものとします。**

付録

お問い合わせ先番号

お客さまセンター

総合・料金について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
0077-7-111	局番なしの157番

PRESSING ZERO WILL CONNECT YOU TO AN OPERATOR AFTER CALLING 157 ON YOUR au CELLPHONE.

紛失・盗難時の回線停止のお手続き、操作方法について（通話料無料）

一般電話からは	au電話からは
0077-7-113	局番なしの113番

上記の番号がご利用になれない場合、
下記の番号にお電話ください。（無料）

0120-977-033（沖縄を除く地域）
0120-977-699（沖縄）

安心ケータイサポートセンター

紛失・盗難・故障について（通話料無料）

一般電話／au電話から
0120-925-919

受付時間 9:00〜21:00（年中無休）

取扱説明書リサイクルにご協力ください。

KDDIではこのマークのあるauショップで回収した紙資源を、製紙会社と協力し国内リサイクル活動を行っています。

モバイル・リサイクル・ネットワーク
携帯電話・PHS のリサイクルにご協力を。

携帯電話・PHS事業者は、環境を保護し、貴重な資源を再利用するためにお客様が不要となってお持ちになる電話機・電池・充電器を、ブランド・メーカーを問わず マークのあるお店で回収し、リサイクルを行っています。

発売元:KDDI(株)・沖縄セルラー電話(株)
輸入元:SAMSUNG ELECTRONICS JAPAN CO., LTD.
製造元:Samsung Electronics Co., Ltd.
Code No.:GH68-37760A(Rev.1.0)　2012年10月第1版